



Title	学会消息
Author(s)	
Citation	大阪大学経済学. 2018, 68(1), p. 169-198
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/70018
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

学 会 消 息

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

人 事 異 動

関絵里香は、平成 29 年 4 月 1 日付けをもって立命館大学経済学部教授から本研究科教授に採用された。(理論分析講座)

開本浩矢は、平成 29 年 4 月 1 日付けをもって兵庫県立大学経営学部教授から本研究科教授に採用された。(経営情報講座)

西脇雅人は、平成 29 年 4 月 1 日付けをもって早稲田大学高等研究所准教授から本研究科准教授に採用された。(応用経済講座)

宋娟貞は、平成 29 年 4 月 1 日付けをもって神戸大学大学院経営学研究科学術研究員から本研究科助教に採用された。(政策分析講座)

堂目卓生は、平成 29 年 8 月 25 日付けをもって本学研究科長・本学部長の任期を満了した。

谷崎久志は、平成 29 年 8 月 26 日付けをもって本学研究科長・本学部長に就任した。(任期は 2 年)

山本達司教授(経営情報講座)は、平成 30 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、同志社大学商学部教授となった。

深尾葉子准教授(経営情報講座)は、平成 30 年 3 月 31 日付けをもって本研究科より、大阪大学大学院言語文化研究科准教授に配置換えとなった。

高橋慎講師(理論分析講座)は、平成 30 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職し、法政大学経営学部准教授となった。

戎谷梓助教(経営情報講座)は、平成 30 年 3 月 31 日付けをもって本研究科を退職した。

研 究 交 流

Pierre-Yves Donzé教授は、アメリカ経営史学会への参加および特許戦略と家電産業におけるグローバル競争に関する報告を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 29 年 4 月 1 日に出発し、同月 3 日に帰国した。

山本千映教授は、Annual Conference Economic History Societyに参加するため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成 29 年 4 月 1 日に出発し、同月 3 日に帰国した。

恩地一樹准教授は、税と組織改編の研究、情報収集、および研究打ち合わせを行うため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成 29 年 4 月 1 日に出発し、同月 11 日に帰国した。

阿部顕三教授は、コンファレンスへの参加および国際政治研究に関する研究動向調査を行うため、台湾へ出張を命ぜられ、平成 29 年 4 月 14 日に出発し、同月 16 日に帰国した。

福重元嗣教授は、コンファレンスへの参加および経済学の実証研究に関する研究動向調査を行うため、台湾へ出張を命ぜられ、平成 29 年 4 月 14 日に出発し、同月 16 日に帰国した。

恩地一樹准教授は、税と組織改編に関する研究報告および情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成 29 年 4 月 22 日に出発し、5 月 7 日に帰国した。

西原理准教授は、Fifth Asian Quantitative Finance Conferenceへの参加、研究発表、および情報収集を行うため、大韓民国へ出張を命ぜられ、平成 29 年 4 月 23 日に出発し、同月 26 日に帰国した。

松村真宏准教授は、AIフォーラムに関する研究打ち合わせおよびAIフォーラムへの参加のため、台湾へ出張を命ぜられ、平成 29 年 4 月 26 日に出発し、同月 30 日に帰国した。

福重元嗣教授は、消費者物価の空間分布に関する研究打ち合わせのため、オーストリア共和国へ出張を命ぜられ、平成29年5月4日に出発し、同月8日に帰国した。

小林敏男教授は、先端繊維技術展示会への参加および東欧イノベーション戦略に関する調査を行うため、ドイツ連邦共和国、チェコ共和国へ出張を命ぜられ、平成29年5月8日に出発し、同月15日に帰国した。

福重元嗣教授は、25th Pacific Conference of the RSAIへの参加および情報収集を行うため、台湾へ出張を命ぜられ、平成29年5月16日に出発し、同月21日に帰国した。

小南大智助教は、国際会議ICC2017への参加および研究発表を行うため、フランス共和国へ出張を命ぜられ、平成29年5月20日に出発し、同月24日に帰国した。

阿部顕三教授は、カナダ経済学会への参加およびカナダの経済学に関する研究動向調査を行うため、カナダへ出張を命ぜられ、平成29年6月1日に出発し、同月6日に帰国した。

恩地一樹教授は、税と合併に関する研究報告のため、香港へ出張を命ぜられ、平成29年6月2日に出発し、同月6日に帰国した。

勝又壮太郎准教授は、ISMS 2017への参加、研究発表、および資料収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成29年6月6日に出発し、同月12日に帰国した。

大屋幸輔教授は、The 1st International Conference on Econometrics and Statistics (EcoSta 2017)への参加および金融市場の統計分析に関する資料収集を行うため、香港へ出張を命ぜられ、平成29年6月14日に出発し、同月18日に帰国した。

高橋慎講師は、The 1st International Conference on Econometrics and Statistics (EcoSta 2017)への参加、研究発表、および情報収集を行うため、香港へ出張を命ぜられ、平成29年6月14日に出発し、同月18日に帰国した。

高橋慎講師は、The 10th annual SoFiE conferenceへの参加および情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成29年6月20日に出発し、同月28日に帰国した。

福重元嗣教授は、2017 iHEA BIENNIAL WORLD CONGRESS BOSTONへの参加および情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成29年7月6日に出発し、同月13日に帰国した。

阿部顕三教授は、東南アジアの経済学に関する研究動向調査のため、シンガポール共和国へ出張を命ぜられ、平成29年7月14日に出発し、同月16日に帰国した。

戎谷梓助教は、AOM年次学会への参加、研究発表、および研究打ち合わせを行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成29年8月4日に出発し、同月16日に帰国した。

恩地一樹教授は、税と組織改編の研究に関する情報収集および研究打ち合わせを行うため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成29年8月5日に出発し、10月2日に帰国した。

宋娟貞助教は、イギリスの鉄道事業に関する資料収集、Thredbo 15への参加、および研究打ち合わせを行うため、連合王国、スウェーデン王国へ出張を命ぜられ、平成29年8月7日に出発し、同月19日に帰国した。

許衛東准教授は、新しい海のシルクロード政策に関する調査、交流、および資料収集を行うため、中華人民共和国へ出張を命ぜられ、平成29年8月9日に出発し、同月22日に帰国した。

深尾葉子准教授は、日中韓国際学術会議への参加、グローバルマネジメントに関する研究報告、および日中韓を越境して影響を及ぼす黄砂問題に関する講義を行うため、大韓民国へ出張を命ぜられ、平成29年8月12日に出発し、同月16日に帰国した。

安田洋祐准教授は、第32回欧州経済協議会と第70回欧州計量経済学会への参加および研究報告を行うため、ポルトガル共和国、フランス共和国へ出張を命ぜられ、平成29年8月20日に出発し、同月27日に帰国した。

阿部顕三教授は、国際貿易の産業組織論分析に関する研究動向調査を行うため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成29年8月22日に出発し、同月26日に帰国した。

小林敏男教授は、アジアにおけるイノベーション、産学連携、BOPビジネスに関する調査を行うため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成29年8月23日に出発し、同月27日に帰国した。

渡辺泰明特任教授は、金融工学に関する研究打ち合わせのため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成29年8月30日に出発し、9月5日に帰国した。

深尾葉子准教授は、黄砂発生地域の研究に関する現地調査およびフィールドワークを行うため、中華人民共和国へ出張を命ぜられ、平成29年9月3日に出発し、同月12日に帰国した。

阿部顕三教授は、Sardinian Empirical Trade Conferenceへの参加および国際貿易の実証分析に関する研究動向調査を行うため、イタリア共和国へ出張を命ぜられ、平成29年9月6日に出発し、同月11日に帰国した。

鳩澤歩教授は、資料調査のため、ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ、平成29年9月19日に出発し、同月26日に帰国した。

西脇雅人准教授は、Comparative Analysis of Enterprise Data (CAED) Conferenceへの参加および研究報告を行うため、大韓民国へ出張を命ぜられ、平成29年9月21日に出発し、同月25日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé教授は、資料調査のため、スイス連邦へ出張を命ぜられ、平成29年9月23日に出発し、同月29日に帰国した。

西原理准教授は、23rd EBES Conferenceへの参加、研究発表、および情報収集を行うため、スペインへ出張を命ぜられ、平成29年9月25日に出発し、10月1日に帰国した。

西脇雅人准教授は、23rd EBES Conferenceへの参加および研究報告を行うため、スペインへ出張を命ぜられ、平成29年9月26日に出発し、10月1日に帰国した。

中川功一准教授は、日本留学フェアに参加するため、ベトナム社会主義共和国へ出張を命ぜられ、平成29年9月29日に出発し、10月2日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé教授は、史料調査のため、ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ、平成29年10月24日に出発し、同月29日に帰国した。

渡辺泰明特任教授は、金融に関する研究打ち合わせのため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成29年10月27日に出発し、11月5日に帰国した。

小林敏男教授は、技術経営ワークショップ台北への参加および研究打ち合わせを行うため、台湾へ出張を命ぜられ、平成29年11月2日に出発し、同月5日に帰国した。

恩地一樹教授は、national tax association annual meetingへの参加、研究報告、およびディスカッションを行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成29年11月8日に出発し、同月13日に帰国した。

中川功一准教授は、PDMA学会に参加するため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成29年11月10日に出発し、同月14日に帰国した。

勝又壮太郎准教授は、PDMA学会への参加、研究発表、資料収集、および研究打ち合わせを行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成29年11月10日に出発し、同月15日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé教授は、時計の特許データベースに関する共同研究およびワークショップへの参加のため、スイス連邦、ドイツ連邦共和国へ出張を命ぜられ、平成29年11月13日に出発し、同月20日に帰国した。

西村幸浩教授は、国際租税競争の論文に関する研究打ち合わせを行うため、台湾へ出張を命ぜられ、平成29年11月13日に出発し、同月23日に帰国した。

福重元嗣教授は、第5回 Chulalongkorn-Osaka University Joint Conferenceへの参加、情報収集、および研究打ち合わせを行うため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成29年11月29日に出発し、12月2日に帰国した。

関絵里香教授は、第5回 Chulalongkorn-Osaka University Joint Conferenceに参加するため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成29年11月30日に出発し、12月2日に帰国した。

佐々木勝教授は、第5回 Chulalongkorn-Osaka University Joint Conferenceへの参加および研究打ち合わせを行うため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成29年11月30日に出発し、12月2日に帰国した。

西脇雅人准教授は、第5回 Chulalongkorn-Osaka University Joint Conferenceに参加するため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成29年11月30日に出発し、12月2日に帰国した。

石黒真吾教授は、コンファレンスに参加するため、香港へ出張を命ぜられ、平成29年12月1日に出発し、同月3日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé教授は、医療器械に関する史料調査および研究打ち合わせを行うため、フランス共和国、オランダ王国へ出張を命ぜられ、平成29年12月5日に出発し、同月10日に帰国した。

西脇雅人准教授は、Asia-Pacific Industrial Organization Conferenceに参加するため、ニュージーランドへ出張を命ぜられ、平成29年12月13日に出発し、同月17日に帰国した。

高橋慎講師は、The 11th International Conference on Computational and Financial Econometrics (CFE 2017)への参加、研究発表、および情報収集を行うため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成29年12月15日に出発し、同月21日に帰国した。

深尾葉子准教授は、北京における近年の大気汚染に関する聞き取り調査および現地観察を行うため、中華人民共和国へ出張を命ぜられ、平成29年12月21日に出発し、同月24日に帰国した。

西原理准教授は、2018 ASSA Annual Meetingへの参加および情報収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成30年1月3日に出発し、同月9日に帰国した。

阿部顕三教授は、国際援助に関する研究動向調査のため、台湾へ出張を命ぜられ、平成30年1月25日に出発し、同月26日に帰国した。

恩地一樹教授は、共同研究および研究会を開催するため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成30年1月27日に出発し、3月31日に帰国した。

阿部顕三教授は、国際貿易の実証分析に関する研究動向調査のため、シンガポール共和国へ出張を命ぜられ、平成30年1月28日に出発し、同月30日に帰国した。

阿部顕三教授は、産業組織論に関する研究動向調査のため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成30年2月3日に出発し、同月7日に帰国した。

深尾葉子准教授は、春節期間中のイベントに関する記録と調査を行うため、中華人民共和国へ出張を命ぜられ、平成30年2月9日に出発し、同月13日に帰国した。

許衛東准教授は、華南地域におけるPM2.5の越境汚染に関する研究を行うため、香港へ出張を命ぜられ、平成30年2月12日に出発し、同月22日に帰国した。

関絵里香教授は、現地調査のため、フィリピン共和国へ出張を命ぜられ、平成30年2月13日に出発し、同月20日に帰国した。

佐々木勝教授は、経済実験の実施および研究打ち合わせを行うため、ミャンマー連邦共和国へ出張を命ぜられ、平成30年2月15日に出発し、同月19日に帰国した。

松村真宏教授は、学会に参加するため、連合王国へ出張を命ぜられ、平成30年2月20日に出発し、同月24日に帰国した。

小南大智助教は、国際会議ICIN2018への参加および情報収集を行うため、フランス共和国へ出張を命ぜられ、平成30年2月20日に出発し、同月24日に帰国した。

阿部顕三教授は、貿易と環境の経済分析に関する研究打ち合わせのため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成30年2月22日に出発し、同月24日に帰国した。

西村幸浩教授は、ワークショップでの研究発表および共同研究を行うため、ベルギー王国、フランス共和国へ出張を命ぜられ、平成30年2月27日に出発し、同月28日に帰国した。

福重元嗣教授は、大阪大学タイ同窓会に出席するため、タイ王国へ出張を命ぜられ、平成30年3月2日に出発し、同月4日に帰国した。

戎谷梓助教は、国際ビジネス経営に関する現地調査および共同プロジェクトを行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成30年3月4日に出発し、同月17日に帰国した。

阿部顕三教授は、貿易と環境および開発についての経済分析に関する研究打ち合わせのため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成30年3月9日に出発し、同月13日に帰国した。

福田祐一教授は、日本の資産市場における曖昧さと不確実性回避に関する資料収集および意見交換を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成30年3月9日に出発し、同月13日に帰国した。

鳩澤歩教授は、戦間期ドイツ国鉄の地方組織等に関する資料調査のため、ドイツ連邦共和国、連合王国へ出張を命ぜられ、平成30年3月12日に出発し、同月16日に帰国した。

山本達司教授は、教育設備視察および会計学教育に関する情報収集を行うため、オーストラリア連邦へ出張を命ぜられ、平成30年3月16日に出発し、同月21日に帰国した。

阿部顕三教授は、アジアにおける貿易自由化と環境についての経済分析に関する調査のため、台湾へ出張を命ぜられ、平成30年3月18日に出発し、同月19日に帰国した。

二神孝一教授は、東アジアにおける貿易自由化と環境についての経済分析および台湾の経済成長の状況に関する調査を行うため、台湾へ出張を命ぜられ、平成30年3月18日に出発し、同月19日に帰国した。

福田祐一教授は、日本と台湾の為替レートの変動が両国の経済取引に与える影響に関する意見交換のため、台湾へ出張を命ぜられ、平成30年3月18日に出発し、同月19日に帰国した。

山本和博准教授は、Panpacific Conference in Economic Researchへの参加および資料収集を行うため、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられ、平成30年3月25日に出発し、同月31日に帰国した。

西原理准教授は、ISERD - 335th International Conference on Accounting and Financeへの参加、研究発表、および情報収集を行うため、台湾へ出張を命ぜられ、平成30年3月25日に出発し、同月28日に帰国した。

Pierre-Yves Donzé教授は、共同研究に関する打ち合わせのため、中華人民共和国へ出張を命ぜられ、平成30年3月26日に出発し、同月28日に帰国した。

学会・講演会行事

OFC 講演会が、下記のとおり開催された。

- 第 53 回 平成 29 年 5 月 31 日 学士会館
「日本経済の再生に向けて—アベノミクスをどう評価し、どう見直すべきか—」
大阪大学経済学研究科 講師 臼井正樹氏
- 第 54 回 平成 29 年 10 月 16 日 中之島センター
「仕掛学：問題解決のための行動デザイン」
大阪大学経済学研究科 教授 松村真宏氏
- 第 55 回 平成 30 年 2 月 7 日 中之島センター
「文化の下剋上～利休と戦国武将～」
千里金蘭大学 名誉教授・表千家不審菴文庫運営委員 生形貴重氏

寄附講義が、下記のとおり開催された。

平成 29 年度 1 学期 特殊講義「財政・金融と関西経済の現状」

会場：大阪大学豊中キャンパス 法経講義棟 3 階 5 番教室

日時：毎週金曜日第 2 時限（10 時 30 分～12 時 00 分）

- 第 1 回 平成 29 年 4 月 14 日
「オリエンテーション（財務局が担う役割）」
財務省 近畿財務局 総務部次長 矢守泰治氏
- 第 2 回 平成 29 年 4 月 21 日
「国際金融」
財務省 大臣官房総合政策課 課長補佐 下津公敬氏
- 第 3 回 平成 29 年 4 月 28 日
「我が国の予算制度」
財務省 主計局 司計課 課長補佐 中野利隆氏
- 第 4 回 平成 29 年 5 月 12 日
「我が国の財政の現状」
財務省 近畿財務局 局長 美並義人氏
- 第 5 回 平成 29 年 5 月 19 日
「最近の経済情勢等」
財務局 近畿財務局 経済調査課長 三井敬謙氏

- 第6回 平成29年5月26日
「国債管理政策」
財務省 理財局 国債企画課 課長補佐 神野貴史氏
- 第7回 平成29年6月2日
「我が国税制の現状と一体改革について」
財務省 主税局 税制第一課 主税企画官 細田修一氏
- 第8回 平成29年6月9日
「国有財産行政」
財務省 近畿財務局 管財部次長 小西真氏
- 第9回 平成29年6月16日
「地域金融機関と監督行政」
財務省 近畿財務局 金融監督官 佐藤雄作氏
- 第10回 平成29年6月23日
「金融とのかかわり～資産形成を考える～」
財務省 近畿財務局 金融監督官 木村孝氏
- 第11回 平成29年6月30日
「地域金融機関と検査行政」
財務省 近畿財務局 検査監理官 多賀淳一氏
- 第12回 平成29年7月7日
「雇用失業情勢と働き方改革」
厚生労働省 大阪労働局 局長 苧谷秀信氏
- 第13回 平成29年7月14日
「中央銀行業務と金融政策運営」
日本銀行 大阪支店 営業課長 渡辺真吾氏
- 第14回 平成29年7月21日
「税務行政」
大阪国税局 調査第一部 国際情報第二課長 廣田知之氏
- 第15回 平成29年7月28日
「金融リテラシー・まとめ」
財務省 近畿財務局 金融調整官 阪井重雄氏

平成 29 年度 1 学期 特殊講義「アセットマネジメントの理論と実務」

会場：大阪大学豊中キャンパス法経講義棟 2 階 4 番教室

日時：毎週水曜日第 3 時限（13 時 00 分～14 時 30 分）

- 第 1 回 平成 29 年 4 月 12 日
「投資資産（株式、債券）のリスクとリターン」
イボットソン・アソシエイツ・ジャパン(株) 取締役会長 山口勝業氏
- 第 2 回 平成 29 年 4 月 19 日
「アセットマネジメントとは（オリエンテーション）」
フィデリティ・ジャパン・ホールディングス(株) 取締役副会長 蔵元康雄氏
- 第 3 回 平成 29 年 4 月 26 日
「アセットアロケーションと分散投資」
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ(株)
アドバイザー・ボード・メンバー 山田正次氏
- 第 4 回 平成 29 年 5 月 10 日
「REIT、不動産証券化商品」
三菱商事UBS・REALTY(株) 前代表取締役副社長 向井稔氏
- 第 5 回 平成 29 年 5 月 17 日
「社会的責任投資」
三井住友信託銀行(株) 株式運用部 SRI ファンドマネージャー 山田栄一氏
- 第 6 回 平成 29 年 5 月 24 日
「投資信託」
シンクタンク・ソフィアバンク 代表 藤沢久美氏
- 第 7 回 平成 29 年 5 月 31 日
「株主によるガバナンスと企業行動・企業価値」
(株)日本投資環境研究所 調査部 主任研究員 上田亮子氏
- 第 8 回 平成 29 年 6 月 7 日
「日本の年金とアセットアロケーション」
システム 2(株) 代表取締役 (大阪ガス(株) 前財務部担当部長) 石田英和氏
- 第 9 回 平成 29 年 6 月 14 日
「金融デリバティブ取引」
東京海上日動火災保険(株) 内部監査部部長 (元東京海上アセットマネジメント(株)CIO)
河西洋文氏

- 第10回 平成29年6月21日
「ファンドマネージャー・アナリストの業務」
TMインベストメント(株) 代表取締役 水野隆秀氏
- 第11回 平成29年6月28日
「投資資産の種類とグローバル・マーケットの動向」
アセットマネジメントOne(株) 運用本部 調査グループ
チーフエコノミスト 小出晃三氏
- 第12回 平成29年7月5日
「資産運用業とコンプライアンス」
日本投資顧問業協会 副会長(元証券取引等監視委員会事務局長) 長尾和彦氏
- 第13回 平成29年7月12日
「金融商品取引法とアセットマネジメント」
アセットマネジメントOne(株) リスク管理本部
法務グループ長兼法務部長 村岡佳紀氏
- 第14回 平成29年7月19日
「ヘッジファンド」
あけほの投資顧問(株) 代表取締役CEO兼投資最高責任者CIO 白木信一郎氏
- 第15回 平成29年7月26日
「アセットマネジメント・ビジネスの今後の展望(経営者が語る)」
ベイビュー・アセット・マネジメント(株) 取締役 工藤雄二氏

◇教員が、2017年度（平成29年度）に発表した著書および論文、研究報告等と、受け又は任ぜられた学位、学術賞、学外活動は、下記のとおりである。

阿部 顕三

[論文]

「政府開発援助に関する経済学的考察－中国型の援助を中心として－」『問題と研究』第46巻4号, pp.1-23, 2017年12月

[その他]

「自由貿易のメリット・デメリット」『経済セミナー』No.696, pp.23-27, 2017年7月

「TPP11合意後の課題(下)－自由化の意義再認識を, RCEP締結, 日本に恩恵(経済教室)」『日本経済新聞』朝刊, 2017年12月15日

[学外活動]

日本学術会議 連携会員 任命権者・日本学術会議 2006年8月20日－(継続)

日本国際経済学会 顧問 任命権者・日本国際経済学会会長 2010年10月－(継続)

神戸大学経済経営研究所 非常勤講師 任命権者・神戸大学学長 2011年4月1日－2018年3月31日

大阪大学後援会 監事 任命権者・大阪大学後援会理事長 2011年11月29日－(継続)

日本学術振興会 学術システム研究センター主任研究員 任命権者・日本学術振興会理事長 2016年4月1日－(継続)

日本経済学会 理事 任命権者・日本経済学会代表者 2016年6月18日－(継続)

アジア太平洋研究所 リサーチャー 任命権者・アジア太平洋研究所代表理事 2016年6月24日－2018年3月31日

鳩澤 歩

[著書]

“A Comparison of Railway Nationalization between Two Empires: Germany and Japan,” in: The Development of Railway Technology in East Asia in Comparative Perspective, Minoru Sawai (ed.), Springer Nature, August 2017, 分担共著

『鉄道人とナチス：ドイツ国鉄総裁ユリウス・ドルプミュラーの二十世紀』, 国書刊行会, 2018年3月

[その他]

「『魔の山』をおりて、その先へ－ナチス・ドイツと音楽、その周辺」『学際』統計研究会, No.4, pp.47-61, 2017年11月

[研究報告・研究発表]

「ナチス期ドイツ国鉄の運営における総裁ユリウス・ドルプミュラー」, 企業家研究フォーラム 平成29年度年次大会, 2017年7月, 大阪大学中之島センター

コーディネーター及び基調報告, 年次大会共通論題「マイノリティとしての企業家・再論－ヨーロッパの経験を中心に－」, 企業家研究フォーラム 平成29年度年次大会, 2017年7月, 大阪大学中之島センター

[学外活動]

企業家研究フォーラム 幹事 任命権者・企業家研究フォーラム学会長 2006年4月－(継続)

関西学院大学商学部 非常勤講師 任命権者・関西学院大学学長 2007年4月－(継続)

経営史学会 編集委員 任命権者・経営史学会長 2007年4月－(継続)

公益法人財団寺西育英会 監事 任命権者・公益法人財団寺西育英会理事長 2011年4月 - (継続)

同志社大学商学部 非常勤講師 任命権者・同志社大学学長 2014年4月 - (継続)

放送大学 客員教授 任命権者・放送大学学長 2014年4月 - (継続)

社会経済史学会 編集委員 任命権者・社会経済史学会代表理事 2014年12月 - (継続)

堂目 卓生

[研究報告・研究発表]

「目指すべき社会を考える」, 立命館大学西園寺塾, 2017年6月24日, 立命館東京キャンパス
「目指すべき社会を考える - 経済思想史の視点から」, 適塾記念講演会, 2017年12月4日, 大阪大学中之島センター

「目指すべき社会を考える - 経済思想史の視点から」, 日本政策投資銀行設備投資研究所アカデミックセミナー, 2017年12月26日, 日本政策投資銀行設備投資研究所

「目指すべき社会を考える - 経済思想史の視点から」, 國學院大學経済学部学術講演会, 2018年2月10日, 國學院大學

[学外活動]

経済学史学会 幹事 任命権者・経済学史学会 2017年4月1日 -

戎谷 梓

[研究報告・研究発表]

“Transferring Corporate Values across Borders: The Case Study of Inpatriation in a Japanese Multinational Company,” The 30th Annual Meeting of the Association of Japanese Business Studies, July 1, 2017, Dubai

“Transferring Corporate Values across Borders: The Role of Inpatriation in Multinational Companies,” Academy of International Business 2017 Annual Meeting, July 5, 2017, Dubai

“Interplay of Team Mental Models, Project Process Models, and Language in Software-Development Teams,” The 77th Annual Meeting of the Academy of Management, August 6, 2017, Atlanta

“Fixing communication problems in international virtual teams: The roles of team mental models and bridge individuals,” Academy of International Business Southeast Asia Regional Conference 2017, December 8, 2017, Chiang Mai

深尾 葉子

[著書]

大竹真一編『どうして高校生が数学を学ばなければならないの?』, 大阪大学出版会, 2017年7月, 分担執筆

[論文]

「環境問題のグローバル：マネジメントに関する民族誌的研究 - 黄砂・黄土・植林を読みかえる -」, p.191, 2017年12月21日, 学位論文

[その他]

「魂の脱植民地化に向けて」『東洋日報新聞』12面 (韓国), 2017年4月24日

「魂の脱植民地化と未来共創」『未来共創新聞』, 2017年5月15日

書評:「ひそかに発する危険信号」『男子劣化社会』(フィリップ・ジンバルド, ニキータ・クーロン, 晶文社), 『公明新聞』, 2017年10月2日

書評：「産む性を中心にした社会」『女たちの王国』（曹惠虹，晶文社），『公明新聞』，2018年3月5日

[学位]

博士（経営学） 大阪大学 2017年12月21日

福重 元嗣

[論文]

“Intergovernmental Fiscal Relationships in China: A Simple Model Based on the Nonsymmetric Nash Solution,” *Asia-Pacific Journal of Regional Science*, Vol.1, No.2, pp.495-509, October 2017, Yingxin Shi (大連民族大学副教授) と共著

[研究報告・研究発表]

“Japan 2011 Earthquake and Tsunami: Effects on load demand magnitude and pattern,” 25th Pacific Conference of the RSAI, May 17-20, 2017, 国立成功大学 (Tainan, Taiwan)

“Quantile regression model for electricity peak demand forecasting: Approximation by local triangular distribution to avoid blackouts,” IAAE 2017, 2017年6月26日～30日, 札幌

“To Be or Not To Be?: Medical Expenditure’s View,” The 12th iHEA World Congress, Boston 2017, July 8-11, 2017, Boston University

福田 祐一

[学外活動]

Associate Editor, *Asia-Pacific Financial Markets* 任命権者・日本金融・証券計量・工学学会 2012年5月 - (継続)

日本経済学会 2017年度春季大会プログラム委員長 任命権者・日本経済学会 2016年9月 - 2017年6月

二神 孝一

[著書]

『マクロ経済学（第2版）』，有斐閣，2017年4月5日，堀敬一と共著

『マクロ経済学入門（第3版）』，日本評論社，2017年4月25日

[論文]

「9大学経済学研究科及び附置研究所の研究業績比較調査（2016年）」The Institute of Social and Economic Research Osaka University, *Discussion Paper*, No. 998, 2017年4月，二神孝一，神谷和也，芹澤成弘，柴田章久

“A Non-Unitary Discount Rate Model,” *Economica*, pp.1-27, online October 2017, with Takeo Hori

“Time-Inconsistent Discounting and the Friedman Rule: The Role of Non-Unitary Discounting,” *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No.18-04, pp.1-18, February 2018, with Takeo Hori

“Rising longevity, fertility dynamics, and R&D-based growth,” *Journal of Population Economics*, pp.1-30, online March 2018, with Kunihiko Konishi

“Dynamic Analysis of Budget Policy Rules in Japan,” *Bank of Japan Working Paper Series*, No.18-E-3, pp.1-45, March 2018, with Kunihiko Konishi

[研究報告・研究発表]

“Dynamic Analysis of Budget Policy Rules in Japan,” the Seventh Joint Conference organized by the University of Tokyo Center for Advanced Research in Finance and the Bank of Japan Research and Statistics Department, 2017年11月30日, 日本銀行

“Dynamic Analysis of Budget Policy Rules in Japan,” Kobe Conference on Trade, Financial Integration and Economic Growth, 2017年12月1日, 神戸大学

“Capital Accumulation Game with Quasi-geometric Discounting and Consumption Externalities,” 経済理論・政策ワークショップ, 2018年2月28日, 青山学院大学

[学外活動]

立命館大学経済学部 非常勤講師 任命権者・立命館大学総長 1997年4月 - (継続)

同志社大学経済学部 非常勤講師 任命権者・立命館大学総長 2003年4月 - (継続)

Associate Editor, *Journal of Economics* 2005年 - (継続)

開本 浩矢

[論文]

「ソーシャルスキルが進路選択に与える影響に関する実証分析」*Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No.17-34, pp.1-16, 2017年12月, 町田尚史と共著

[学外活動]

日本労務学会 理事 任命権者・日本労務学会会長 2017年7月15日 -

日本学術会議 連携会員 任命権者・日本学術会議会長 2017年10月1日 -

廣田 誠

[著書]

『日本商業史－商業・流通の発展プロセスをとらえる』, 有斐閣, 2017年9月, 廣田誠, 山田雄久, 木山実, 長廣利崇, 藤岡里圭

『「わろてんか」を商いにした街 大阪』, NHK出版, 2017年11月25日

[研究報告・研究発表]

「関西の鉄道企業と地域社会－プロ野球場運営の歴史的展開から考える－」, 鉄道史学会第35回大会共通論題報告, 2017年11月11日, 神戸学院大学有瀬キャンパス

[学外活動]

市場史研究会 事務局世話人 任命権者・市場史研究会代表 2000年7月1日 - (継続)

関西学院大学商学部 非常勤講師「商業史」「商業史各論」 2002年4月1日 - (継続)

神戸女学院大学人間科学部 非常勤講師「食糧経済学」 2002年4月1日 - (継続)

神戸学院大学経済学部 非常勤講師「日本経済史」 2008年4月1日 - (継続)

『山口県史』現代 専門委員 任命権者・山口県知事 2008年4月1日 - (継続)

社会経済史学会 理事 任命権者・社会経済史学会代表理事 2012年12月1日 - (継続)

『経済史研究』(大阪経済大学日本経済史研究所) 編集委員 任命権者・大阪経済大学日本経済史研究所所長 2014年3月1日 - (継続)

八尾市史専門部会 部会員(近現代部会) 任命権者・八尾市長 2015年4月1日 - (継続)

企業家研究フォーラム 理事 任命権者・企業家研究フォーラム会長 2015年7月18日 - (継続)

阪和育英会 理事 任命権者・阪和育英会理事長 2016年7月1日 - (継続)

鉄道史学会 評議員 任命権者・鉄道史学会会長 2016年12月1日 - (継続)

関西学院大学経済学部 非常勤講師「現代日本経済史」 2017年4月1日 -

石黒 真吾

[論文]

“Moral Hazard and Target Budgets,” *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No.18-03, February 2018, with Yosuke Yasuda

[研究報告・研究発表]

“Moral Hazard and Target Budgets,” The 2nd Joint Economics Symposium of 4 Leading Universities in Japan and Taiwan, 2018年3月31日, 大阪大学

[学外活動]

Japanese Economic Review 共同編集委員 任命権者・*Japanese Economic Review*責任編集者
2012年3月 - (継続)

祝迫 達郎

[論文]

“Welfare Effects of Patent Protection in a Semi-Endogenous Growth Model,” *Discussion Papers in Economics and Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No.17-27, August 2017, *Macroeconomic Dynamics*, forthcoming

[学外活動]

立命館大学経済学部 非常勤講師 任命権者・立命館大学学長 2009年4月1日 - (継続)

JEON HAEJUN

[論文]

“Optimal patent policy in the presence of vertical separation,” *European Journal of Operational Research*, online March 28, 2018, with Michi NISHIHARA

[研究報告・研究発表]

“Patent protection and R&D subsidy under asymmetric information,” The 5th Asian Quantitative Finance Conference, April 26, 2017, Korean Science and Technology Center

“Patent protection and R&D subsidy under asymmetric information,” 京都大学経済学研究所ミクロ経済学・ゲーム理論研究会, 2017年5月25日, 京都大学

“Patent protection and R&D subsidy under asymmetric information,” The 44th EARIE (European Association for Research in Industrial Economics) Annual Conference, September 1, 2017, Maastricht University

“Patent protection and R&D subsidy under asymmetric information,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2017年秋季研究発表会, 2017年9月15日, 関西大学

“Licensing and information disclosure under asymmetric information,” 京都大学数理解析研究所研究集会「ファイナンスの数理解析とその応用」, 2017年11月13日, 京都大学

“Licensing and information disclosure under asymmetric information,” Dynamic Corporate Finance Workshop, 2017年12月21日, 大阪大学

“Licensing and information disclosure under asymmetric information,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2018年春季研究発表会, 2018年3月15日, 東海大学

勝又 壮太郎

[論文]

「スマートフォンゲーム市場の成熟化による製品普及過程の変化」『情報通信学会誌』Vol.35, No.2, pp.33-43, 2017年9月, 勝又壮太郎, 一小路武安, リュ・ボスル

“Multiple information devices users in the era of digital convergence: The relationship between YouTubers and YouTube viewers,” *Annals of Business Administrative Science*, Vol.16, No.5, pp. 215-228, October 2017, Takeyasu Ichikohji, Sotaro Katsumata

“Influence of individual characteristics on whether and how much consumers engage in showrooming behavior,” *Electronic Commerce Research*, online November 2017, Wirawan Dony Dahana, HeeJae Shin, Sotaro Katsumata

“The Contents-Based Website Classification for the Internet Advertising Planning: An Empirical Application of the Natural Language Analysis,” *The Review of Socionetwork Strategies*, Vol.11, No.2, pp.129-142, December 2017, Sotaro Katsumata, Eiji Motohashi, Akihiro Nishimoto, Eiji Toyosawa

[研究報告・研究発表]

「有料音楽配信サービスにおける新市場創造戦略」, 日本消費者行動研究学会 第54回消費者行動研究コンファレンス, 2017年5月21日, 慶応義塾大学三田キャンパス, 西本章宏, 勝又壮太郎

「有料音楽配信サービスにおける市場のダイナミクス分析: MarketingからMegamarketingへ」, 日本消費者行動研究学会 第54回消費者行動研究コンファレンス, 2017年5月21日, 慶応義塾大学三田キャンパス, 勝又壮太郎, 西本章宏

“Exploring Institutional Dynamic of Consumption Practices Using Quantitative Content Analysis,” 39th Annual ISMS Marketing Science Conference, June 8, 2017, University of Southern California, Akihiro Nishimoto, Sotaro Katsumata

“Examining Preceding Factors Of User Innovation Behaviors: A Case Study on Smartphone Applications,” 39th Annual ISMS Marketing Science Conference, June 9, 2017, University of Southern California, Bosul Yoo, Sotaro Katsumata

「Megamarketing視点に基づく市場創造のダイナミクスに関する内容分析」, 日本マーケティング・サイエンス学会 第101回研究大会, 2017年6月17日, 慶応義塾大学三田キャンパス, 西本章宏, 勝又壮太郎

「スマートフォンを利用したユーザーイノベーション行動の多国間比較」, 日本マーケティング・サイエンス学会 第101回研究大会, 2017年6月18日, 慶応義塾大学三田キャンパス, リュ・ボスル, 勝又壮太郎

“A Multi-Country Comparison of User Innovation Behaviors on Smartphone Application,” Proceedings of the 14th ITS Asia-Pacific Conference, 2017年6月25日, 京都国際会館, Bosul Yoo, Sotaro Katsumata, Takeyasu Ichikohji

“Segregation of digital game users: An empirical comparison of smartphones and gaming consoles,” Proceedings of the 14th ITS Asia-Pacific Conference, 2017年6月26日, 京都国際会館, Sotaro Katsumata, Takeyasu Ichikohji

“A Hierarchical Topic Model for the E-commerce Purchase Behavior,” Conference of the International Federation of Classification Societies (IFCS) 2017, 2017年9月10日, 東海大学, Sotaro Katsumata, Eiji Motohashi, Akihiro Nishimoto

“How Team Organization of Design Patent Creators Affects Consumer Design Evaluation? An Empirical Analysis of Automobile Industry,” Proceedings in the 2017 Annual PDMA Research Forum, November 13,

2017, Swissotel Chicago, Sotaro Katsumata, Atsushi Akiike, Tohru Yoshioka-Kobayashi

[学術賞]

Outstanding Paper, 2017 Emerald Literati Network Awards for Excellence, Emerald Publishing Limited, Sotaro Katsumata, Junyi Song, May 2017

大阪大学賞 大阪大学 2017年11月

[学外活動]

行動計量学会 和文誌編集委員 任命権者・日本行動計量学会 2015年5月25日 - (継続)

日本マーケティング・サイエンス学会 研究委員 任命権者・日本マーケティング・サイエンス学会 2015年10月1日 - (継続)

小林 敏男

[学外活動]

特定非営利活動法人おおさか大学起業支援機構 理事 任命権者・代表理事 篠原祥哲 2002年5月23日 - (継続)

公益財団法人大阪産業振興機構 阪大イノベーションファンド評価委員会 評価委員 任命権者・日本ベンチャーキャピタル株式会社 2003年6月4日 - (継続)

公益財団法人日本応用酵素協会 評議員 任命権者・会長 土屋裕弘 2012年10月1日 - (継続)

大阪大学経済学部同窓会 副会長 任命権者・会長 犬伏泰夫 2015年7月4日 - (継続)

日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員 任命権者・日本学術振興会 2017年12月1日 -

小南 大智

[論文]

"Percolation analysis for constructing a robust modular topology based on a binary-dynamics model," *International Journal of Distributed Sensor Networks*, Vol.13, Issue 4, April 2017, Shinya Toyonaga, Daichi Kominami, and Masayuki Murata

"Hierarchical optimal control method for controlling large-scale self-organizing networks," *ACM Transactions on Autonomous and Adaptive Systems*, Vol.12, pp.22:1-22:23, January 2018, Naomi Kuze, Daichi Kominami, Kenji Kashima, Tomoaki Hashimoto, and Masayuki Murata

[研究報告・研究発表]

"A control method for autonomous mobility management systems toward 5G mobile networks," The 10th International Workshop on Evolutional Technologies & Ecosystems for 5G and Beyond, May 21, 2017, Paris Congress Center, Daichi Kominami, Takanori Iwai, Hideyuki Shimonishi, and Masayuki Murata

"Designing interconnected networks for improving robustness and efficiency," IEEE International Symposium on Local and Metropolitan Area Networks, June 2017, 大阪大学, Masaya Murakami, Kenji Leibnitz, Daichi Kominami, and Masayuki Murata

「ニホンアマガエルの合唱情報収集のための位置推定システム」, 情報処理学会研究報告音楽情報科学研究会(MUS), Vol.2017-MUS-115, pp.1-6, 2017年6月, お茶の水女子大学, 小南大智, 平野康晴, 合原一究, 村田正幸

"Self-organizing wireless sensor networks based on biological collective decision making for treating information uncertainty," The 13th IEEE International Conference on Wireless and Mobile Computing, Networking and Communications, October 9-11, 2017, Hotel Savoy, Italy, Saeko Shigaki, Naomi Kuze, Daichi Kominami, Kenji Kashima, and Masayuki Murata

「LPWA ネットワークにおける基地局負荷の分散を考慮した自律分散型送信スケジュール手法」, 電子情報通信学会技術研究報告 (IN2017-67), Vol.117, pp.127-132, 2017年12月, 広島市立大学, 小南大智, 合原一究, 村田正幸

「無線ネットワークにより相互接続したマイクロホンアレイを用いた音源位置推定手法の実装」, 電子情報通信学会技術研究報告 (ASN2017-87), Vol.117, pp.23-28, 2018年1月, 湯布郷館, 細川侑嗣, 小南大智, 合原一究, 村田正幸

“Flexible user model for human’s cognitive judgment in video streaming applications,” The 6th Korea-Japan Joint Workshop on Complex Communication Sciences (KJCCS), 2018年1月8-10日, 定山溪万世閣ホテルミリオーネ, Masayoshi Iwamoto, Tatsuya Otoshi, Daichi Kominami, and Masayuki Murata

「生物の集団的行動選択に着想を得た不確実な情報に基づく制御手法についての一検討」, 電子情報通信学会情報ネットワーク研究会, 2018年3月, 宮崎シーガイア, 志垣沙衣子, 久世尚美, 小南大智, 加嶋健司, 村田正幸

“Reliable architecture for network of networks with inspiration from brain networks,” 電子情報通信学会情報ネットワーク研究会, 2018年3月, 宮崎シーガイア, Masaya Murakami, Kenji Leibnitz, Daichi Kominami, and Masayuki Murata

「集団的な行動選択の仕組みに着想を得た不確実な情報に基づくチャネル選択手法の提案と評価」 電子情報通信学会情報ネットワーク研究会, 2018年3月, 宮崎シーガイア, 久世尚美, 小南大智, 加嶋健司, 橋本智昭, 村田正幸

[学外活動]

電子情報通信学会ネットワーク科学時限研究専門委員会 幹事補佐 任命権者・電子情報通信学会 2015年4月 - (継続)

電子情報通信学会情報指向ネットワーク技術研究専門委員会 幹事補佐 任命権者・電子情報通信学会 2015年4月 - (継続)

松村 真宏

[著書]

『人を動かす「仕掛け」』, PHP研究所, 2017年6月

人工知能学会編『人工知能学大事典』, 共立出版, 2017年7月

[学術賞]

ベストペーパー賞 日本マーケティング学会 2017年10月

大阪大学賞 大阪大学 2017年11月

村宮 克彦

[論文]

“Quality of financial inputs and management earnings forecast accuracy in Japan,” *Journal of Contemporary Accounting and Economics*, Vol.13, No.2, pp.179-191, August 2017, with Tomomi Takada

「クリーンサープラス関係を利用した時間的に変動する期待リターンの推計」『証券アナリストジャーナル』第55巻第10号, pp.70-81, 2017年10月, 小野慎一郎と共著

[研究報告・研究発表]

“Investment-Based Asset Pricing Model and Predictive Power of Accruals for Future Returns,” Nagoya Finance Workshop, 2017年9月, 名古屋大学

「投資ベースの資産価格モデルと会計発生高の将来リターン予測能力」, 第7回大阪市立大学

計研究会, 2018年3月, 大阪市立大学

[学外活動]

行動経済学会 監事 任命権者・行動経済学会 2017年12月1日 -

中川 功一

[論文]

"A University-Industry Collaborative Entrepreneurship Education Program as a Trading Zone: The Case of Osaka University," *Technology Innovation Management Review*, Vol.7, Issue 6, pp.38-49, June 2017, Nakagawa, K., Takata, M., Kato, K., Matsuyuki, T., & Matsuhashi, T.

"Organizational cultural crossvergence and innovation: Evidence from Japanese multinationals in emerging markets," *Cross-cultural Management Journal*, Vol.19, Issue 1, pp.47-57, June 2017, Nakagawa, K., Tada, K., and Fukuchi, H.

「組織文化の海外移転について、我々が知り得ていることと、これからの方向性」『組織科学』 Vol.50, No.4, pp.21-30, 2017年6月, 中川功一・佐々木将人・今川智美

"Effects of top management team characteristics on corporate charitable activities: Evidence from the board for small and medium-sized enterprises in China," *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No.17-30, October 2017, Huang, X., Nakagawa, K., and Li, J.

"Top management team characteristics and team processes," 『大阪大学経済学』 Vol.67, No.2・3・4, pp.1-39, 2017年12月, Huang, X. and Nakagawa, K

[その他]

「クロスバージェンス経営の実現に向けて：東南アジアと日本企業の間関係を見つめ直す」『世界経済評論』 Vol.61, No.5, pp.100-107, 2017年9月

[研究報告・研究発表]

"University-Industry collaborative entrepreneurship education program as a trading zone: Case of Osaka University," University Industry Collaboration and Academic Entrepreneurship: East meets West, June 2017, Bologna Business School, Italy, Koichi Nakagawa, Megumi Takata, Kosuke kato, Terumasa Matsuyuki, Toshihiko Matsuhashi

"The Balance between Organizational and Managerial Factors toward Innovation in VUCA World: Evidence from Tunisian Firms in a Post-Revolution Context," 2017 Annual Conference of Academy of International Business, July 5, 2017, Dubai, UAE, Abidi, D. and Nakagawa, K.

"Opportunity-Based Approach Versus Administrative Control Approach: Comparison between Unstable Tunisia and Stable Japan," 3rd Academy of Business and Emerging Markets Conference, August 2, 2017, Santo Domingo, Dominican Republic, Nakagawa, K. and Abidi, D.

"Individual development performance after being acquired: Evidence for social capital effect from semiconductor industry," PDMA research forum, November 11, 2017, Chicago, Nakamura, F. and Nakagawa, K.

"Competitive positioning as a predictive factor of explorative and exploitative technological acquisitions: Evidence from the semiconductor industry," PDMA Research Forum, November 12, 2017, Chicago, Nakagawa, K. and Nakaya, M.

[学術賞]

ABEM Best Paper Award 2017, Academy of Business and Emerging Markets, August 2, 2017, Nakagawa, K. and Abidi, D.

西原 理

[論文]

“Effects of temporary regulation of asymmetric access charges in telecommunications,” *Managerial and Decision Economics*, Vol. 38, Issue 3, pp. 344-364, April 2017, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Licensing contract and patent policies in vertically separated market” 『京都大学数理解析研究所講究録』 No. 2029, pp. 115-134, 2017年5月, Haejun JEON, Michi NISHIHARA

“Valuation of an R&D project with three types of uncertainty,” *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No. 17-15, June 2017

“Dynamic bankruptcy procedure with asymmetric information between insiders and outsiders,” *Discussion Papers In Economics And Business*, Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University, No. 17-18, July 2017, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Selling out or going public? A real options signaling approach,” *Finance Research Letters*, Vol. 22, pp. 146-152, August 2017

“Default and liquidation timing under asymmetric information,” *European Journal of Operational Research*, Vol. 263, Issue 1, pp. 321-336, November 2017, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Investment timing, reversibility, and financing constraints,” *Journal of Corporate Finance*, Vol. 48, pp. 771-796, February 2018, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Valuation of R&D investment under technological, market, and rival preemption uncertainty,” *Managerial and Decision Economics*, Vol. 39, Issue 2, pp. 200-212, March 2018

[研究報告・研究発表]

“Bankruptcy decision under asymmetric information,” Fifth Asian Quantitative Finance Conference, April 26, 2017, Seoul, Korea, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Default and liquidation decisions under asymmetric information between insiders and outsiders,” 第19回丸の内QFセミナー, 2017年6月1日, 首都大学東京

“Bankruptcy decision under asymmetric information,” Nippon Finance Association 25th Annual Conference, 2017年6月3日, 千葉工業大学, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Agency Cost of Debt Overhang with Optimal Investment Timing and Size,” European Financial Management Association Annual Conference, June 28, 2017, The American College of Greece, Athens, Greece, Sudipto SARKAR, Michi NISHIHARA, Chuanqian ZHANG

“Investment timing, collateral, and financing constraints,” 23rd International Conference Computing in Economics and Finance, June 29, 2017, Fordham University, New York City, USA, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Bankruptcy, liquidation, and fire sales under asymmetric information,” 23rd EBES Conference, September 29, 2017, Universidad Complutense de Madrid, Madrid, Spain, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Financing and investment strategies under information asymmetry,” 京都大学数理解析研究所研究集会「ファイナンスの数理解析とその応用」, 2017年12月13日, 京都大学, 芝田隆志, 西原理

“Bankruptcy, liquidation, and fire sales under asymmetric information,” 京都大学数理解析研究所研究集会「ファイナンスの数理解析とその応用」, 2017年12月15日, 京都大学, 西原理, 芝田隆志

“Bankruptcy, liquidation, and fire sales under asymmetric information,” Dynamic Corporate Finance Workshop, 2017年12月21日, 大阪大学, Michi NISHIHARA, Takashi SHIBATA

“Operating Leverage and Underinvestment: Theory and Evidence,” Dynamic Corporate Finance Workshop, 2017年12月21日, 大阪大学, Chuanqian ZHANG, Feng JIAO, Xiaoyu ZHANG, Michi NISHIHARA

“Financing and investment strategies under asymmetric information,” Conference on Mathematical Modelling of Risk and Contiguous Topics, December 27, 2017, University of Melbourne, Melbourne, Australia, Takashi SHIBATA, Michi NISHIHARA

“Investment timing when investment opportunities arrive in a random sequence,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2018年春季研究発表会, 2018年3月15日, 東海大学

“Investment timing when investment opportunities arrive in a random sequence,” ISERD 335th International Conference on Accounting and Finance, March 26, 2018, Taipei

西村 幸浩

[論文]

“Equilibrium leadership in tax competition models with capital ownership: a rejoinder,” *International Tax and Public Finance*, Vol.24, No.2, pp.338-349, April 2017, Jean Hindriks and Yukihiro Nishimura

「最適課税理論 セカンド・ベストの税制設計 Vol.1: 課税における「最善」と「次善」」『経済セミナー』No.696, pp.56-63, 2017年7月

「最適課税理論 セカンド・ベストの税制設計 Vol.2: 最適物品税 (Ramsey Model)」『経済セミナー』No.697, pp.90-97, 2017年9月

「最適課税理論 セカンド・ベストの税制設計 Vol.3: 公的資金の限界費用とその応用」『経済セミナー』No.698, pp.78-86, 2017年11月

「最適課税理論 セカンド・ベストの税制設計 Vol.4: 最適非線形所得税 (Mirrlees Model)」『経済セミナー』No.699, pp.96-105, 2018年1月

「最適課税理論 セカンド・ベストの税制設計 Vol.5: Mirrlees Modelにおける物品税・公共支出政策」『経済セミナー』No.700, pp.76-84, 2018年3月

“Education Choices, Longevity and Optimal Policy in a Ben-Porath Economy,” *Mathematical Social Sciences*, online October 2017, Yukihiro Nishimura, Pierre Pestieau, and Grégory Ponthière

[研究報告・研究発表]

「財政学・公共経済学者のための最適課税論入門 PART 1」, 関西公共経済学研究会, 2017年4月22日, 大阪大学中ノ島センター

“The Direction of Strategic Delegation and Voter Welfare in Asymmetric Tax Competition Models,” The 73rd Annual Meeting of International Institute of Public Finance, August 19, 2017, 東京大学, with Kimiko Terai

“Enforcement Cooperation and Tax Competition Among Asymmetric Countries,” International Symposium of Urban Economics and Public Economics, 2017年8月22日, 大阪大学, with Jean Hindriks

「財政学・公共経済学者のための最適課税論入門 PART 2」, 関西公共経済学研究会, 2017年10月28日, 関西学院大学大阪梅田キャンパス

“Enforcement Cooperation and Tax Competition Among Asymmetric Countries,” The 3rd Belgian-Japanese Public Finance Workshop, March 3, 2018, CORE-UCL, Belgium, with Jean Hindriks

[学外活動]

International Institute of Public Finance, Board of Management 任命権者・President of International Institute of Public Finance 2016年8月12日 - (継続)

International Institute of Public Finance, Scientific Committee 任命権者・Chair of the Scientific Committee of International Institute of Public Finance 2016年10月-2017年8月20日

The 3rd Belgian-Japanese Public Finance Workshop, Member of organizing committee, co-organizer 任命権者・Jean Hindriks 2017年3月4日-2018年3月3日

日本財政学会 理事 任命権者・日本財政学会代表理事 2017年4月-

International Symposium of Urban Economics and Public Economics, Member of organizing committee, organizer 任命権者・西村幸浩 2017年9月-

大西 匡光

[論文]

「一般化Ho-Leeモデルに基づくゲーム・フォワード・スワップションの価格評価」『数理解析研究所講究録 RIMS Kôkyûroku』No.2044, pp.90-100, 2017年9月, 蛭名安希, 落合夏海と共著

[その他]

「2017年秋季シンポジウムルポ(第77回)」『オペレーションズ・リサーチ』Vol.63, No.2, pp.100-101, 2018年2月

[研究報告・研究発表]

「価格インパクトを考慮した最適執行戦略(続)」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会2017年秋季研究発表会, 2017年9月14日, 関西大学千里山キャンパス

「市場価格インパクトを考慮した最適執行問題」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会4部会合同研究会~確率モデルの新展開~, 2017年10月7日, 県立広島大学サテライトキャンパス

“Pricing of derivatives on semi-tradable assets with stochastic volatility models,” 京都大学数理解析研究所研究集会「ファイナンスの数理解析とその応用」, 2017年11月15日, 京都大学数理解析研究所

“An empirical examination of volatility on intraday Nikkei 225 futures: A Bayesian approach,” 京都大学数理解析研究所研究集会「ファイナンスの数理解析とその応用」, 2017年11月15日, 京都大学数理解析研究所

「標準正規分布のある幾何学的特性の考察」, 京都大学数理解析研究所研究集会「不確実性下の意思決定理論とその応用: 計画数学の展開」, 2017年11月15日, 京都大学数理解析研究所

「一般化された離散時間価格インパクト・モデルのもとでの最適執行戦略」, 京都大学数理解析研究所研究集会「不確実性下の意思決定理論とその応用: 計画数学の展開」, 2017年11月15日, 京都大学数理解析研究所

「一般化された価格インパクト・モデルのもとでの均衡執行戦略」, ゲーム理論ワークショップ2018, 2018年3月3日, 大阪経済大学

「一般化された価格インパクト・モデルのもとでの均衡執行戦略」, 日本オペレーションズ・リサーチ学会2018年春季研究発表会, 2018年3月15日, 東海大学高輪キャンパス

[学外活動]

日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部 運営委員 任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部 2001年4月- (継続)

日本オペレーションズ・リサーチ学会 代議員 任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会 2002年4月- (継続)

日本学術会議 連携会員 任命権者・日本学術会議 2006年9月- (継続)

日本オペレーションズ・リサーチ学会 フェロー 任命権者・日本オペレーションズ・リサーチ学会 2007年4月- (継続)

太田 亘

[研究報告・研究発表]

「注文流入情報の価格予測力」日本ファイナンス学会第25回大会, 2017年6月4日, 千葉工業大学

[学外活動]

日本証券アナリスト協会試験委員会 委員 任命権者・日本証券アナリスト協会 2014年11月 - (継続)

日本証券アナリスト協会『証券アナリストジャーナル』編集委員会 委員 任命権者・日本証券アナリスト協会 2014年11月 - (継続)

現代ファイナンス 編集者 任命権者・日本ファイナンス学会/MPTフォーラム 2016年 - (継続)

恩地 一樹

[論文]

“Banks restructuring sonata: How capital injection triggered labor force rejuvenation in Japanese banks,” *The B.E. Journal of Economic Analysis & Policy*, Vol.17 Issue 2, online May 2017, Onji, K., Osada, T., and Vera, D.

“Taxes and the choice of organizational form in late nineteenth century Japan,” *Journal of Economic History*, Vol.77 No.2, pp.440-472, June 2017, Onji, K. and Tang, J.

[その他]

「視点：組織再編成税制と租税回避：ヤフー事件の普遍性」『M&A専門誌マール』2017年11月号 277号, 2017年10月17日

「経済教室：税制改正 残された課題（下）」『日本経済新聞』朝刊, 2018年1月23日

[研究報告・研究発表]

“Taxes, corporate takeovers, and step transactions,” University of Michigan Seminar, May 2017, University of Michigan

“Old Boy Network, Capital Injection and Banks’ Returns: Evidence from Japanese Banks,” 「人材配置の経済学」研究会, 2017年5月27日, 大阪大学

“Taxes, corporate takeovers, and step transactions,” Econometric Society Asian Meeting, June 2017, Chinese University of Hong Kong

“Taxes, corporate takeovers, and step transactions,” Research School of Economics Applied Seminar, September 2017, Australian National University

“Taxes, corporate takeovers, and step transactions,” National Tax Association Annual Congress, November 2017, Philadelphia

“Tastes for Control: Estimates from Shareholder Bunching,” OSIPP ブラウンバッグ・セミナー, 2017年12月, 大阪大学

“Tastes for Control: Estimates from Shareholder Bunching,” UCSD Workshop on bunching estimators and their applications, March 2018, University of California at San Diego

小野 哲生

[論文]

“Aging, Pensions, and Growth,” *FinanzArchiv: Public Finance Analysis*, Vol.73, No.2, pp.163-189, June 2017

“Inequality and public debt: A positive analysis,” *Review of International Economics*, Vol.25, No.5, pp.1155-1173, November 2017, with Ryo Arawatari

大屋 幸輔

[著書]

“Characterizing Interdependencies of Multiple Time Series: Theory and Applications,” Springer, November 2017, Yuzo Hosoya, Kosuke Oya, Taro Takimoto, Ryo Kinoshita

[その他]

「ボラティリティ・スプレッド」『先物・オプションレポート』Vol.29, No.12, pp.1-5, 2017年12月

[研究報告・研究発表]

“Frequency wise decomposition of variance risk premium,” The 1st International Conference on Econometrics and Statistics, June 16, 2017, the Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong

“High-frequency Financial Data and G-Causality Analysis,” 科学研究プロジェクト「新しい時系列計量分析の理論と応用」, 2017年8月5日, 釧路公立大学

“Frequency-wise causality analysis with infinite order VAR processes,” 一橋大学共同利用・共同研究拠点プロジェクト研究集会「高頻度データを用いた資産価格の計量分析」, 2018年2月10日, 一橋大学経済研究所 (木下 亮氏, 新谷元嗣氏との共同研究, 報告: 大屋)

“Estimation for affine term structure with smooth transition,” 釧路公立大学研究集会「ファイナンス・経済統計の諸問題」, 2018年2月20日, 釧路公立大学 (椋木伸吾氏と共同研究, 報告: 椋木)

“Estimation of implied risk-aversion for Nikkei 225 on Tokyo stock exchange with variance spread,” Workshop on “Financial/Economic Analytics,” March 8, 2018, Hang Seng Management College, Hong Kong

[学外活動]

日本統計学会 代議員 任命権者・日本統計学会 2015年6月1日 - (継続)

Pierre-Yves Donzé

[著書]

Histoire des politiques hospitalières en Suisse romande, Alphil editions, May 2017

Industries and Global Competition: A History of Business Beyond Borders, Routledge, September 2017, with Bram Bowens and Takafumi Kurosawa

Global Luxury: Organizational Change and Emerging Markets since the 1970s, Palgrave Macmillan, October 2017, with Rika Fujioka

L'invention du luxe: Histoire de l'industrie horlogère à Genève de 1815 à nos jours, Alphil editions, November 2017

[論文]

“From the industrial district to the global firm: Swatch Group and the Swiss watch industry, 1960-2010,” *Revista de Historia Industrial*, Vol. 26, No. 66, pp. 191-213, April 2017

“La R&D dans l'horlogerie électronique suisse et japonaise de 1960 à 1980 : une analyse comparative de Longines et de Seiko,” *Le Mouvement social*, Vol. 258, pp. 109-122, April 2017

“Fashion watches: The emergence of accessory makers as intermediaries in the fashion system,” *International Journal of Fashion Studies*, Vol. 4 No. 1, pp. 69-85, April 2017

“La R&D commune entreprises-université dans l’industrie horlogère de 1900 à nos jours,” *Bulletin de la Société suisse de chronométrie*, Vol.83, pp.21-28, June 2017, with Ilan Vardi and Simon Henein

“Luxury Business,” *Oxford Research Encyclopedias Business and Management*, online August 2017, with Rika Fujioka

“Les PME et le “miracle économique” japonais: un bilan historiographique,” *Marché & organizations*, Vol.30, pp.119-136, October 2017

[その他]

書 評 : Francesco Garufo, “L’emploi du temps : l’industrie horlogère suisse et l’immigration (1930-1980) ,” Lausanne : Antipodes, 2015, *Le Mouvement social*, Vol.258, pp.143-145, April 2017

[研究報告・研究発表]

“Missed connections: designers, apparel makers, and fashion media in Tokyo since 1945,” European Business History Association, August 25, 2017, Vienna University

「スイスにおけるカトリック系企業家, 1880-1914年」, 企業家研究フォーラム, 2017年9月16日, 大阪大学

“The Nationality of an Industry: “Swiss Made” law and global competition in the watch business since 1950,” The “Nationality” of the Company: Historical Approaches to a Possible Paradox, November 18, 2017, Goethe University, Frankfurt

[学術賞]

大阪大学賞 大阪大学 2017年11月

[学外活動]

同志社大学商学部 非常勤講師 任命権者・同志社大学学長 2014年4月1日 - (継続)

Member of the Council of the European Business History Association (EBHA) 任命権者・Elected by members 2016年1月1日 - (継続)

経営史学会 評議員 任命権者・経営史学会会長 2017年1月1日 -

Visiting Professor, University of Fribourg, Switzerland 任命権者・Dean of the Faculty of Letters 2017年2月1日 -

佐々木 勝

[著書]

川口大司編『日本の労働市場 経済学者の視点』, 有斐閣, 2017年11月, 分担共著

[論文]

“Committee Search with Ex-ante Heterogeneous Agents: Theory and Experimental Evidence,” *IZA Discussion Papers*, No.10760, May 2017, with Keigo Inukai, Keisuke Kawata

“Migration and Natural Disaster: Ex-ante Preparedness and Contribution to Ex-post Community Recovery,” *Migration Studies*, online March 2018, with Pramod Kumar Sur

[その他]

「オリンピックに経済効果はあるのか?」『経済セミナー』No.695, pp.43-50, 2017年5月

「企業スポーツに「ただ乗り」日本の特殊性の危うさ」『週刊エコノミスト』第95巻第28号, 2017年7月

「ランナーの心理 行動経済学で見る目標タイム ゴール前の加速に科学的根拠」『週刊エコノミスト』第95巻第49号, 2017年12月

「気鋭の経済論点:「お受験」偏重に警鐘 部活動で将来賃金は1割増加」『日経ビジネス』1922号, 2017年12月

[研究報告・研究発表]

「労働経済学における実験的手法」, ブック・カンファレンス 2017 年 4 月 29 日, 東京大学

“Testing Reference-Dependent Model: A Laboratory Search Experiment,” 東京労働経済研究会, 2018 年 1 月 12 日, 東京大学社会科学研究所

[学外活動]

日本労働研究雑誌 編集委員 任命権者・労働政策研究研修機構 2011 年 3 月 11 日 - (継続)

関 絵里香

[学外活動]

立命館大学 非常勤講師 任命権者・立命館大学 2017 年 4 月 1 日 - 2018 年 3 月 31 日

立命館大学 客員研究員 任命権者・立命館大学 2017 年 4 月 1 日 - 2018 年 3 月 31 日

椎葉 淳

[論文]

“Management Earnings Forecasts as a Performance Target in Executive Compensation Contracts,” *Journal of Accounting, Auditing, and Finance*, online April 2017, Otomasa, S., A. Shiiba, A. Shuto

「会計情報に基づく現在価値関係」『年報 経営ディスクロージャー研究』第 16 巻, pp.133-149, 2017 年 8 月

[その他]

「クラウド会計 free」慶應義塾大学経営管理研究科 (KBS) ケース教材, 村上裕太郎との共著

[研究報告・研究発表]

“A Theory of Tax Avoidance and Geographic Segment Disclosure,” European Accounting Association, 40th Annual Congress, May 10, 2017, Valencia Conference Centre, Valencia, Spain, 共著者による報告

「21 世紀企業に対するディスクロージャー規制のコスト」, ディスクロージャー研究学会・統一論題報告, 2017 年 6 月 24 日, 東北大学

“A Theory of Tax Avoidance and Geographic Segment Disclosure,” American Accounting Association, Annual Meeting, August 9, 2017, Manchester Grand Hyatt San Diego and the Marriott Marquis San Diego Marina, San Diego, U.S.A., 共著者による報告

“Customer Concentration, Corporate Equity Ownership, and Firm Performance,” 日本管理会計学会・2017 年度全国大会, 2017 年 8 月 28 日, 福岡大学, 共著者による報告

「IT 投資の効果を高める要因としてのインタangible 資産の役割—アンケート調査に基づく分析—」, 経営情報学会・秋季全国研究発表大会, 2017 年 9 月 21 日, 岩手県立大学・アイーナキャンパス, 共著者による報告

“A Theory of Tax Avoidance and Geographic Segment Disclosure,” 日本会計研究学会・第 76 回全国大会, 2017 年 9 月 24 日, 広島大学, 共著者による報告

「投資ベースの資産価格モデルと会計発生高の将来リターン予測能力」, 日本会計研究学会・第 76 回全国大会, 2017 年 9 月 24 日, 広島大学, 共著者による報告

“Contract Rigidity and Timeliness of Accounting Information,” 日本ディスクロージャー研究学会・第 3 回 JARDIS ワークショップ, 2018 年 3 月 3 日, 慶應義塾大学経営管理研究科, 共著者による報告

[学術賞]

日本ディスクロージャー研究学会・最優秀論文賞 日本ディスクロージャー研究学会 2017 年 12 月 16 日 三輪一統・椎葉淳

[学外活動]

Associate Editor, *The Japanese Accounting Review* 任命権者・*The Japanese Accounting Review*, Editor 2011年4月1日 - (継続)

日本管理会計学会 学会誌編集委員 任命権者・日本管理会計学会常務理事会 2014年4月1日 - (継続)

日本ディスクロージャー研究学会 学会誌編集委員 任命権者・日本ディスクロージャー研究学会常任理事会 2017年2月1日 - (継続)

日本管理会計学会 理事 任命権者・日本管理会計学会 2017年4月1日 -

鈴木 敦子

[著書]

「伊勢商人長井家江戸来状群における店側「店掟之事」をめぐる一考察」『石水博物館所蔵長井家文書目録』, 国文学研究資料館, 2018年3月28日, 分担執筆

[論文]

「呉服太物の価格設定法 - 奈良屋杉本家を中心に -」『経営史学』第52巻2号, pp.29-53, 2017年9月

[その他]

「小判六十目之掛法」『三井文庫論叢』50号別冊「三井文庫史料 私の一点」, pp.140-141, 2017年5月

[研究報告・研究発表]

「呉服商と貨幣改鑄 - 元文改鑄期における三井越後屋 -」, 社会経済史学会第86回全国大会, 2017年5月27日, 慶應義塾大学

「三井越後屋における「小判六十目之掛法」」, 企業家研究フォーラム2017年度年次大会, 2017年7月16日, 大阪大学中之島センター

[学外活動]

公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 古文書調査員 任命権者・公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会理事長 2008年4月1日 - (継続)

企業史料協議会くずし字研究会 講師 任命権者・企業史料協議会会長 2013年7月9日 - (継続)

大阪府立中之島図書館くずし字入門講座 講師 任命権者・アスウェル代表取締役 2018年2月2日 - 2018年3月2日

高橋 慎

[その他]

「J-GATE 稼働と日経225先物市場の日中流動性」『先物・オプションレポート』Vol.30 No.3, pp.1-5, 2018年3月

[研究報告・研究発表]

“Flow-Driven and Non-Flow-Driven Realized Variances,” 1st International Conference on Econometrics and Statistics, June 16, 2017, Hong Kong University of Science and Technology

“Realized Stochastic Volatility with Skew-t Error,” International Workshop on Bayesian Econometric Analysis, November 25, 2017, 東京大学

“Realized Stochastic Volatility with Skew-t Error,” 11th International Conference on Computational and Financial Econometrics, December 16, 2017, University of London

“Realized Stochastic Volatility with Skew-t Error,” 一橋大学経済研究所共同利用・共同研究拠点プロジェクト研究集会「高頻度データを用いた資産価格の計量分析」, 2018年2月10日, 一橋大学
 “Realized Stochastic Volatility with Skew-t Error,” 釧路公立大学研究集会「ファイナンス・経済統計の諸問題」, 2018年2月20日, 釧路公立大学

竹内 恵行

[研究報告・研究発表]

“Introducing Statistical Hypothesis Tests into Japan: The Role of Dr. Ryoichiro Sato,” 2017年度, 統計関連学会連合大会, 2017年9月5日, 南山大学名古屋キャンパス

「日大統計学科のカリキュラムについて－UNC-Chapel Hill との比較から－」, 日本統計学会春季集会, 2018年3月4日, 早稲田大学早稲田キャンパス

谷崎 久志

[その他]

「学部長インタビュー「商学部・経済学部の魅力とは?」」『蛭雪時代』11月号付録, pp.15-17, 2017年10月

[学外活動]

日本統計学会 代議員 任命権者・日本統計学会 2015年6月－(継続)

2017年度統計関連学会連合大会(南山大学) プログラム委員長 任命権者・統計関連学会連合 2016年9月－2017年9月

浦井 憲

[論文]

“Replica Core Limit Theorem for Economies with Satiation,” *Economic Theory Bulletin*, Vol.5, No.2, pp.259-270, October 2017, with Hiromi Murakami

“General Equilibrium Model for an Asymmetric Information Economy without Delivery Upper Bounds,” *B. E. Journal of Theoretical Economics*, Vol.18 Issue 1, p.14, January 2018, with Akihiko Yoshimachi, Kohei Shiozawa

[学外活動]

数理経済学会方法論部会 幹事 任命権者・数理経済学会 2013年4月1日－(継続)

数理経済学会 評議員 任命権者・数理経済学会 2017年4月1日－

渡辺 泰明

[研究報告・研究発表]

“Empirical Analysis of Risk Parity Portfolio based on Risk-Factor- Based Asset Allocation,” Forecasting Financial Markets 24th Conference, May 26, 2017, University of Liverpool Management School

[学外活動]

Journal of Computational Optimization in Economics and Finance 論文査読委員 任命権者・*Journal of Computational Optimization in Economics and Finance* 編集長 2008年11月－(継続)

Financial Analysts Journal 論文査読委員 任命権者・*Financial Analysts Journal* 編集長 2009年2月－(継続)

日本スタンフォード協会 運営委員兼理事 任命権者・日本スタンフォード協会会長 2012年6月1日－(継続)

近畿大学経営学部 商学科長（教授） 任命権者・近畿大学理事長 2013年4月 -（継続）

Wirawan Dony Dahana

[論文]

“The Moderating Roles of Prior Attitude and Message Acceptance in Electronic Word of Mouth,” *International Journal of Business and Information*, Vol.12, No.2, pp.183-207, June 2017, with Heejae Shin

“Investigating the Impacts of Individual Traits and Product Characteristics on Customer Evaluation of Sweepstakes,” *International Journal of Marketing Studies*, Vol.9, No.5, pp.1-16, October 2017, with Yukihiro Miwa, Makoto Morisada

“Asymmetric Persuasive Effects of Gain- and Loss-related Messages in Electronic Word of Mouth,” *International Journal of Business and Management*, Vol.12, No.12, pp.82-96, December 2017, with Heejae Shin

“Influence of Individual Characteristics on Whether and How Much Consumers Engage in Showrooming Behavior,” *Electronic Commerce Research*, online November 2017, with Heejae Shin, Sotaro Katsumata

“Behavioral Impact of Promotion-induced Cross-buying: The Moderating Roles of Age and Gender,” *Proceedings of 2018 International Conference on Business and Information BAI 2018*, pp.97-113, January 2018, with Makoto Morisada, Yukihiro Miwa

“Online Shopping Malls: Behavioral Impacts of Short- and Long-term Store Loyalty,” *International Business Research*, Vol.11, No.3, pp.10-20, February 2018, with Yukihiro Miwa, Makoto Morisada

“Empirical Study of Heterogeneous Behavior at the Base of the Pyramid: The Influence of Demographic and Psychographic Factors,” *Journal of International Consumer Marketing*, online March 2018, with Toshio Kobayashi, Azusa Ebisuya

「情報探索目的を考慮した購買決定モデル」『マーケティング・サイエンス』25巻1号, pp.15-35, 2018年3月

[研究報告・研究発表]

“Impacts of Cross-Buying Behavior in Online Shopping Malls: The Moderating Roles of Store Loyalty and Relationship Duration,” 日本マーケティング・サイエンス学会第102回研究大会, 2017年12月, 株式会社電通

“Behavioral Impact of Promotion-induced Cross-buying: The Moderating Roles of Age and Gender,” International Conference on Business and Information, 2018年1月, 沖縄コンベンション・センター

日本マーケティング・サイエンス学会 研究員 任命権者・日本マーケティング・サイエンス学会代表理事 2016年4月1日 -（継続）

許 衛東

[著書]

竹内啓一主編著『世界地名大事典』（アジア・オセアニア・極Ⅰ）（アジア・オセアニア・極Ⅱ），朝倉書店，2017年11月，分担共著

[その他]

「日台ビジネス・アライアンスの諸形態と対中経済連携の活性化」，第11回「現代中国と東アジアの新環境」国際シンポジウム論文集，No.11, C249-261, 2017年8月，魏殊と共著

[学外活動]

大阪観光大学 非常勤講師 任命権者・学校法人明浄学院理事長 2015年10月1日 - (継続)

山本 千映

[研究報告・研究発表]

「産業革命とジェンダー：アレン＝ハンフリーズ論争の論点整理」, 政治経済学・経済史学会春季総合研究会, 2017年6月24日, 東京大学

「経済史の役割」, 教育史学会第61回大会, 2017年10月7日, 岡山大学

[学外活動]

社会経済史学会 幹事 任命権者・社会経済史学会代表理事 2009年1月 - (継続)

山本 和博

[論文]

“Inter-regional fertility differentials and agglomeration,” *Japanese Economic Review*, online January 2018, with Tadashi Morita

“Elastic labor supply and agglomeration,” *Journal of Regional Science*, Vol.58, Issue 2, pp.350-362, March 2018, with Takanori Ago, Tadashi Morita, Takatoshi Tabuchi

山本 達司

[研究報告・研究発表]

“Findings from global CFO survey,” Nagoya Finance Workshop, 2017年9月15日, 名古屋大学

“The escalation of lies: An experimental study of the repeated deception game,” 第21回実験社会科学カンファレンス, 2017年10月22日, 関西大学

[学外活動]

Associate Editor, *The Japanese Accounting Review* 任命権者・*The Japanese Accounting Review* 2011年2月 - (継続)

日本ディスクロージャー学会 理事 任命権者・日本ディスクロージャー学会 2015年4月1日 - (継続)

日本経営分析学会 常任理事 任命権者・日本経営分析学会 2017年4月1日 -

日本経営分析学会 学会誌編集委員長 任命権者・日本経営分析学会 2017年8月1日 -

安田 洋祐

[著書]

レヴィット&グールズビー &サイヴァーソン著『レヴィットミクロ経済学 基礎編』, 東洋経済新報社, 2017年4月, 監訳

レヴィット&グールズビー &サイヴァーソン著『レヴィットミクロ経済学 発展編』, 東洋経済新報社, 2018年1月, 監訳

ハバード&パーシュ著『入門 オークション：市場をデザインする経済学』, NTT出版, 2017年4月, 監訳

[その他]

「5つの「なぜ？」でわかるノーベル経済学賞」『一橋ビジネスレビュー』 Vol.65, No.1, pp.86-99, 2017年6月

「文系数学問題を斬る」『Z-KAI』, 2017年10月

「ファン選別し優先販売を（耕論 ゆがむチケット転売）」『朝日新聞』朝刊，2017年6月18日
「マッチング理論に何ができるか ①～⑧（やさしい経済学）」『日本経済新聞』朝刊，2017年9月8, 12, 13, 14, 15, 18, 19, 20日

[研究報告・研究発表]

“A Simple Economics of Inequality: Market Design Approach,” The 10th Pan Pacific Game Theory Conference and TGU Empirical Analyses of Political Economy Symposium, 2017年9月4日，早稲田大学

“A Simple Economics of Inequality: Market Design Approach,” EEA-ESEM 2017, August 24, 2017, University of Lisbon

[学外活動]

関税政策等研究会 委員 任命権者・財務省関税局 2012年4月－（継続）

財政・マクロ経済研究会 委員 任命権者・財務省財務総合政策研究所 2012年4月－（継続）

金融市場調査会 委員 任命権者・東京金融取引所 2012年4月－（継続）

カーボンプライシングのあり方に関する検討会委員 任命権者・環境省 2017年6月－

未来戦略研究会 アドバイザー 任命権者・自由民主党 2017年12月－